

F3-008

油圧ショベル兼用屈曲ジブ式移動式クレーン証明書

顧 客 名	株式会社 開 成
機 種 ・ 号 機	PC200-11 #501659
クレーン製造番号	KACW 5581 KBSA083

上記油圧ショベルは、クレーン等安全規則に基づく、移動式クレーン構造規格及び日本クレーン協会規格（JCAS2205-98）で定められた下記の安全装置を装備した、つり上げ荷重3トン未満の油圧ショベル兼用屈曲ジブ式移動式クレーンであることを証明する。

— 記 —

1. 過負荷警報装置 移動式クレーン構造規格 第27条
 ・ 定格荷重およびつり荷質量表示装置 日本クレーン協会規格 JCAS2205-98
 （クレーンモニタ） （つり荷走行時の指針 JCAS2205-2005）
2. 安全弁 移動式クレーン構造規格 第28条
 ・ 圧力上昇防止弁
 ・ 急落下防止弁
3. 警報装置 移動式クレーン構造規格 第30条
 ・ 警報ブザー（過負荷警報）
4. 傾斜角表示装置 移動式クレーン構造規格 第31条
 ・ 定格荷重およびつり荷質量表示装置
 （クレーンモニタ）
5. 外れ止め装置 移動式クレーン構造規格 第32条
 ・ 外れ止め装置付きフック
6. 各種表示 移動式クレーン構造規格 第43条
 ・ 製造銘板 日本クレーン協会規格 JCAS2205-98
 ・ 定格荷重表
 ・ 定格荷重銘板
 ・ クレーン作業時の注意銘板
7. 水準器 日本クレーン協会規格 JCAS2205-98
8. 外部表示灯 日本クレーン協会規格 JCAS2205-98

上記油圧ショベルは、日本クレーン協会規格（JCAS2205-98）に合致しています。

東京都港区赤坂2丁目3番5号

株式会社



F3-008

(公社)建設荷役車両安全技術協会 編 クレーン機能付油圧ショベル(クローラ式)

様式SR-ECC-91-B

建荷協許諾 第17001号

定期自主検査・特定自主検査記録表

証明書発行日 2019年9月12日

定自主検査章No. 183064

3年間保存

建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制を図るための指針に基づく検査共用

証明書発行No. 8D1990019

特定自主検査章No. 1091307

メーカー名	コマツ	管理番号	KBSA18083	使用者住所氏名又は名称	沖縄県宜野湾市大山7-1-8 (株)開成
型式	PC200-11	バケット容量	0.800 m ³	使用重量	2.90 t
製造番号	501659	アフメーター	69 h	機械管理者氏名	池原 直章
検査場所	沖縄県宮古島市平良西里	検査業者登録番号	労働大臣登録 労41号	検査業者又は事業者住所・名称	沖縄県宮古島市西里1041-2 コマツカスタマーサポート株式会社 九州沖縄カンパニー宮古支店
検査年月日	2019年09月08日	移動式クレーン定期自主検査資格	(交付書) 資格番号 E22292	責任者名	今井重明

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果	補修内容
エンジン	1	本体	★a 始動性 〇 〇 〇 〇 〇 〇 ★b 回転の状況 〇 〇 〇 〇 〇 〇 ★c 排気の状態 〇 〇 〇 〇 〇 〇 ★d エアクリナー 〇 〇 〇 〇 〇 〇 ★e 締付け シリンダーヘッド、マニホールド締付けボルト、ナットの緩み ★f 弁隙間 弁隙間 (mm) 最大 mm 最小 mm (mm) 最大 mm 最小 mm ★g 圧縮圧力 圧縮圧力 (MPa) 1 2 3 4 5 6 ★h 噴射圧力 噴射圧力 (MPa) 1 2 3 4 5 6 ★i 噴霧状態 噴霧状態 〇・不× 1 2 3 4 5 6 ★j 通油路 〇 〇 〇 〇 〇 〇 ★k エンジンマウント 〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、触診、トルクレンチ、シクネスゲージ、圧縮圧力計、ノズルテスター	〇	
	2	潤滑装置	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診	〇	
	3	燃料装置	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診	〇	
	4	冷却装置	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、スケール	〇	
	5	電気装置	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、電圧計	〇	
	6	エアコンプレッサー	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、圧力計	〇	
	7	起動機、遊動機	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、触診、探傷器	〇	
	8	上部ローラー、下部ローラー	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、スケール、パス	〇	
	9	履帯	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、スケール、探傷器	〇	
	10	ゴム履帯	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、スケール	〇	
	11	履帯調整装置	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、触診	〇	
	12	走行減速機	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、触診	〇	
制動	13	駐車ブレーキ(走行)	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診	〇	
	14		〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診	〇	
作業装置	15	ブーム、アーム、バケット、リンク、ピン	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、スケール、タイマー	〇	
	16	ソース	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、スケール、タイマー	〇	
	17	ブレード	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、スケール、タイマー	〇	
	18	フロントアタッチメント	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、スケール、タイマー	〇	
油圧装置	19	作業油タンク	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、スケール、タイマー	〇	
	20	フィルター	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、スケール、タイマー	〇	
	21	配管(ホース類、高圧パイプ)	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、スケール、タイマー	〇	
	22	油圧ポンプ	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、スケール、タイマー	〇	
	23	油圧モーター	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、スケール、タイマー	〇	
	24	油圧シリンダー	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、スケール、タイマー	〇	
	25	方向制御弁(バケットロック弁)	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、スケール、タイマー	〇	
	26	圧力制御弁	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、スケール、タイマー	〇	
	27	流量制御弁	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、スケール、タイマー	〇	
	28	逆止弁(ブーム、アーム)	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、スケール、タイマー	〇	
	29	回転継手	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、スケール、タイマー	〇	
	30	オイルクーラー	〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、スケール、タイマー	〇	
	31		〇 〇 〇 〇 〇 〇	目視、聴診、スケール、タイマー	〇	

3 年 間 保 存

証明書
発行日 2019 年 9 月 2 日定自検
査章 No. 183064証明書
発行 No. 8D1990019特自検
査章 No. 1091307

区分	No.	検 査 箇 所	検 査 内 容	検 査 方 法	検査結果 良 不良	補修 内容				
安全装置・車体関係等	32	a 操作レバー b	ストローク、 ^レ がた ^ア アジャスター ^レ 起伏・ ^レ 旋回装置レバー未操作時の移動式クレーン作動停止	^レ 目視、 ^レ 操作、スケール	^レ					
	33	下部架台フレーム、ブラケット	^レ 亀裂、 ^レ 変形、 ^レ しゅう動部摩耗、 ^レ 取付	^レ 目視、スケール、探傷器	^レ					
	34	旋回フレーム、ブラケット	^レ 亀裂、 ^レ 変形、 ^レ 取付	^レ 目視	^レ					
	35	旋回ベアリング、旋回ギア	^レ 引っ掛かり、 ^レ 異音、 [●] ギヤ亀裂・ ^レ 摩耗、 ^レ 取付、 ^レ シール損傷	^レ 目視、 ^レ 操作、 ^レ 聴診、トルクレンチ	^レ					
	36	旋回減速機	^レ 異音、 ^レ 異常発熱、 ^レ 油量、 ^レ 汚れ、 ^レ 油漏れ、 ^レ 取付	^レ 目視、 ^レ 操作、 ^レ 聴診、 ^レ 触診	^レ					
	37	旋回ロック	^レ 効き、 ^レ 亀裂、 ^レ 損傷、 ^レ 油漏れ、 ^レ ホース損傷・ ^レ 老化	^レ 目視、 ^レ 操作	^レ					
	38	レバーロック、ベダルロック	^レ 効き、 ^レ 損傷、 ^レ 変形	^レ 目視、 ^レ 操作	^レ					
	39	キャブ、カバー	^レ 亀裂、 ^レ 変形、 ^レ 腐食、 ^レ 雨漏り、 ^レ ドア等開閉、 ^レ ロックキー作動、 ^レ ガラスの ^レ がた・ ^レ 損傷	^レ 目視、 ^レ 操作	^レ					
	40	カウンタウエイト	^レ 取付、 ^レ ボルトの亀裂・ ^レ 変形	^レ 目視、スケール、トルクレンチ	^レ					
	41	座席(調整機構、シート、シートベルト)	^レ 作動、 ^レ 損傷、 ^レ 取付	^レ 目視、 ^レ 操作	^レ					
	42	昇降設備、滑り止め	^レ 亀裂、 ^レ 損傷、 ^レ 変形、 ^レ 取付	^レ 目視	^レ					
	43	a 表示板(注意銘板) b (上部旋回体、キャブ/キャブ)	^レ 損傷、 ^レ 取付	^レ 注意銘板 ^レ 定格荷重銘板	^レ 目視	^レ				
	44	灯火装置、音響、方向指示器 窓拭き器、デフロスター等	^レ 作動、 ^レ 取付、 ^レ レンズ損傷、 ^レ 浸水	^レ 目視、 ^レ 操作	^レ					
	45	計器類	^レ 作動	^レ 目視	^レ					
	46	後写鏡、反射鏡、カメラ	^レ 汚れ、 ^レ 損傷、 ^レ 写影	^レ 目視	^レ					
	47	給油脂	^レ 給油脂状態、 ^レ 自動給油脂装置作動	^レ 目視、 ^レ 操作	^レ					
	クレーン装置	48	a b モード切替スイッチ c	エンジン回転速度(1,320 min ⁻¹) ^レ 旋回速度(8 秒) ^レ 外部表示灯点灯	^レ エンジン回転計 ^レ ストップウォッチ ^レ 目視	^レ				
		49	水準器	^レ 取付、 ^レ 損傷	^レ 目視	^レ				
		50	a b 角度検出器(ブーム、アーム) c	^レ 損傷の有無 ^レ レバーの変形の有無、 ^レ 取付状態 ^レ 配線の損傷、 ^レ 断線、 ^レ 絶縁、 ^レ 接続部の腐食、 ^レ 焼損、 ^レ 緩み	^レ 目視 ^レ 目視 ^レ 目視	^レ				
		51	a b c d フックブロック e f g h	^レ フック止めねじの緩み及び脱落チェック ^レ ワイヤーロープの外れ止め装置の変形及び損傷の有無並びに機能チェック ^レ ピン及びキープレートのき裂、 ^レ 摩耗及び損傷並びにボルトの緩み及び脱落の有無 ^レ フックブロックの格納状態 ^レ フック回転部の給油脂状態 ^レ フックブロックのき裂、 ^レ 損傷の有無 ^レ フックの摩耗及び変形の有無 ^レ 軸受け部のガタ、 ^レ 回転の円滑性	^レ 目視、 ^レ 操作 ^レ 目視、 ^レ 操作 ^レ 目視、 ^レ 操作 ^レ 目視、 ^レ 操作 ^{目視、操作} ^レ 目視、 ^レ 触診、 ^レ 打診 ^レ 目視、スケール ^レ 目視、 ^レ 操作	^レ	^レ			
52		a b 荷重検出器 c	^レ 損傷の有無 ^レ 油漏れの有無 ^レ 配線の被覆の損傷、 ^レ 接続部の緩み及び腐食の有無	^レ 目視 ^レ 目視 ^レ 目視	^レ					
53		a b 荷重計 c d	^レ モード切替スイッチとの連動 ^レ 荷重計の損傷の有無及び表示板の視認性 ^レ 荷重計の作業半径表示の異常の有無 ^レ 配線の被覆の損傷、 ^レ 接続部の緩み及び腐食の有無	^レ 目視、 ^レ 操作 ^レ 目視、 ^レ 操作 ^レ 目視、 ^レ 操作 ^レ 目視	^レ					
54		a b c 荷重試験 d e f	^レ 荷重計精度 ^レ ブーム及びアームの起伏能力の有無、 ^レ 異音 ^レ ブーム及びアームの起伏ブレーキ能力の有無 ^レ 上部旋回体の旋回能力の有無、 ^レ 異音 ^レ 上部旋回体の旋回ブレーキ能力の有無	^レ 警報 ^レ 表示値 ^レ 操作、 ^レ 聴診 ^レ 操作、 ^レ 聴診 ^レ 目視、 ^レ 操作 ^レ 操作、 ^レ 聴診 ^レ 目視、 ^レ 操作	^レ	^レ				
総合		55 総合テスト	^レ 作動、 ^レ 異音、 ^レ 異常振動、 ^レ 異常発熱	^レ 操作、 ^レ 聴診、 ^レ 触診	^レ					
排ガス装置		★ 一酸化炭素等発散防止装置	^レ 触媒等の緩み、 ^レ 損傷、 ^レ 排気温度警告装置の配線緩み・ ^レ 損傷、 ^レ 排ガス減少装置のホース・ ^レ パイプの緩み・ ^レ 損傷	^レ 目視、 ^レ 聴診、 ^レ レンチ等	^レ					
要 請		次回定期自主検査・特定自主検査は 2020年09月 続きは、別紙(建荷協様式SR-ZG-03-A)に記載いたします。								
補 修 等 の 措 置 内 容										
照会No.		補修箇所及び不具合状況		補修年月日	補 修 実 施 内 容					
5		バッテリー比重及び電圧低下		2019.9.17	再点検後、支障なし					
16		バケットツース1本脱落		2019.9.17	ツース取付					
51-a		アームクレーンフック給脂不足		2019年09月09日	給脂					
備考		1.検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「 ^レ 」印の記号を記載する。 2.検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3.検査内容の項目に*印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。 4.検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。 5.*及び**印は、安衛法上及び建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの抑制を図るための指針に基づき決められている検査項目であるが、そのうち**印は同指針にのみ基づく検査項目である。								
		記号	交換	分解交換	修理	調整	締付	清掃	給油	該当なし
			×	⊗	△	A	T	C	L	—

建荷協許諾 第17001号

事業者への要請等及び補修措置

書目 2019年9月12日

定期自主 標章No.	183064
---------------	--------

3 年間保存

定期(特定)自主検査記録表

證明書 発行 No.	8D1990019
---------------	-----------

特自檢 標章No.	1091307
--------------	---------

この度は特定自主検査及び定期自主検査を御用命頂き厚く御礼申し上げます。

検査の結果安全に関わる異常は認められませんでした。今後とも日常の点検整備を励行頂きますようお願い申し上げます。

事業者への要請等

補 修 等 の 措 置 内 容			
照会No.	補修箇所及び不具合状況	補修年月日	補 修 実 施 内 容
4.	アーク温度測定に付て	-22℃ 57℃	良好
5.	バッテリー電圧に付て	1.03 充電10V	(充電後 28.30V) 充電後電圧低下を認めず。
51.	アークブレーキの電圧に付て	車体各部	上下 1mm 左右 2mm 間をゲージ基準内。全て基準内にあり良好。
		(基準値)	上下 4mm 以内 左右 10mm 以内